

平成 27 年度予算編成に対する可児市議会からの提言

平成 25 年度決算審査を踏まえて、平成 27 年度の予算編成に生かすよう、以下の提言内容を市長に通知しました。

1. 職員の確保および育成について

職員数については、可児市定員管理計画に定める 523 人を確保するよう努めること。また、重要施策推進のための職員配置や専門性を高める人材育成に取り組むこと。

2. 臨時財政対策債のあり方について

市債は将来世代への負担となるものである。財政調整基金や公共施設整備基金などの積み立て残高を考慮しながら、臨時財政対策債の借入額を適正に決定すること。

3. 国際交流事業について

国際交流事業については、観光、経済、文化・芸術、人材育成などの観点を取り入れた長期ビジョンを策定すること。

4. 道路維持管理事業について

主要市道の整備については、長期的な管理計画に基づき確実な実施を行い、生活道路についても、地域要望に応えられるよう十分な予算措置を講じ、計画的な工事の実施に努めること。

5. 成人各種健康診査事業について

成人各種健康診査事業は、市民の健康を守るための極めて重要な事業である。

成人各種検診の受診について、市民にわかりやすいきめ細かな周知に努め、その受診率向上を図ること。

6. 豊蔵資料館運営事業について

荒川豊蔵資料館については、バリアフリー工事を始めとする周辺整備を行い、来館者の利便性を高めるなど、美濃桃山陶の聖地として、ふさわしい展望をもった整備を進めること。